

今期の認定NPO法人とくしまコウノトリ基金の取組

鳴門市堀江北小学校での環境学習

堀江北小学校4年生を対象に、コウノトリやビオトープを活用した授業を継続し、7月10日に最終回の7回目を開催しました。また、昨年度に引き続き、12月14日に小山市立下生井小学校とオンラインの交流授業を実施しました。



第3回テーマ：「コウノトリビオトープ」での生きもの観察



第7回 テーマ：SDGs



小山市立下生井小学校とオンラインの交流授業



ドイツ・リューネブルク市 親善使節団の対応

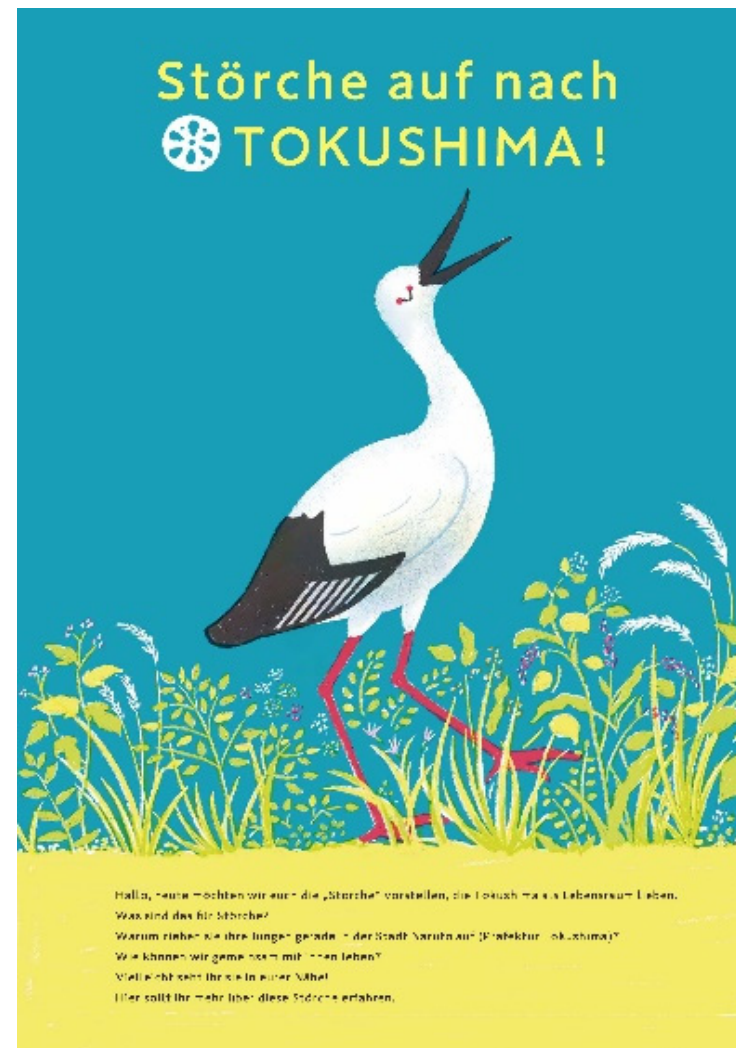
2023年10月14日に鳴門市の姉妹都市であるドイツ・リューネブルク市親善使節団が鳴門市を訪問した際、活動を紹介しました。普及啓発パネルのドイツ語版をA4サイズに印刷したものが配布されました。



とくしまコウノトリ基金の取組を紹介
[写真提供: 認定NPO法人与とくしまコウノトリ基金]



ドイツ・リューネブルク市親善使節団との交流
[写真提供: 認定NPO法人与とくしまコウノトリ基金]



配布したドイツ語版の普及啓発パネル
[画像出典: 徳島河川国道事務所]

そのほかの主な取組

地域の関係者と連携・協働しながら、各種の取組を進めています。

◆耕作放棄地を再生した水田で農薬不使用の米づくりの実証実験

コープ自然派の組合員、徳島大学の学生、とくしまコウノトリ基金会員などが、農薬や化学肥料を使わない米づくりを体験しながら、水生動物がたくさん生息できる田んぼづくりを実施。



[写真提供：認定NPO法人とくしまコウノトリ基金]

◆コウノトリの子育て映像のリアルタイム配信

板東南ふれあいセンターにモニターを設置し、巣の近くの固定カメラの映像をリアルタイムで公開。観察者や地域住民が、コウノトリの子育ての様子などを観察した。



[写真提供：認定NPO法人とくしまコウノトリ基金]

◆ビオトープ米でお酒をつくるプロジェクト

4年目となるビオトープ米でお酒をつくるプロジェクトを実施。お酒は2024年3月7日に発売。



[写真提供：認定NPO法人とくしまコウノトリ基金]

◆萩原地区資源保全協議会のビオトープ整備に協力

鳴門板東ペアの巣が位置している地域の農家や住民で組織する「萩原地区資源保全協議会」が整備するビオトープにアドバイスをを行った。



[写真提供：認定NPO法人とくしまコウノトリ基金]